

# モディリアニ展

— 愛と創作に捧げた35年 —

開館記念特別展

A M E D E O  
M O D I G L I A N I

2022年4月9日(土) — 7月18日(月・祝)

主催 大阪中之島美術館、読売新聞社 <https://naka-art.jp>

(若い女性の肖像) 部分 1917年頃 ナイト画 油彩



大阪中之島  
美術館  
NAKANOSHIMA  
MUSEUM OF ART.  
OSAKA



# 描いたのは愛



開館記念特別展

## モディリアーニ展

—愛と創作に捧げた35年—

A M E D E O M O D I G L I A N I

- 1 (左) ニアト・モリスの肖像 (部分) 1917年、ダダ派美術加載
- 2 (少女の肖像、アンソウワット) (部分) 1918年、アール・ド・グランド・モンパルナール山荘美術館蔵
- 3 (小さな顔大) (部分) 1918年頃、プライベート
- 4 (若いフランスの婦人像) (部分) 1919年頃、ロッセリ美術館蔵
- 5 (座る裸婦) (部分) 1917年、アンソウワット美術館蔵
- 6 (おぼろげの少女) (部分) 1918年頃、名古屋市美術館蔵
- 7 (スボワカ夫人) (部分) 1918年、プライベート
- 8 (オールド・ファッション) (部分) 1919年、東京富士美術館蔵

2022年早春、水部のシンボルである大阪中之島に待望の新しい美術館が誕生します。大阪中之島美術館の開館を記念する展覧会として「モディリアーニ展—愛と創作に捧げた35年—」を開催いたします。イタリア出身のアメデオ・モディリアーニ(1884—1920)はフランスに渡り、エコール・ド・パリの一員としてピカソや藤田嗣治などと共に活躍しました。モディリアーニによる人物像はアーモンド型の眼や細長い首をもち、内面的な本質を鋭く捉えます。わずか35歳で命尽きるまで精力的に描いた作品群は、世界中で今なお愛好されています。本展では、国内外で所蔵されるモディリアーニ作品を中心に、同時代のバリエーションを提示し、モディリアーニ芸術が成立する軌跡をたどります。

モディリアーニと20世紀前期のバリエーションで開花した芸術は、新時代の幕開けを迎える躍動感に満ちています。その豊かな醍醐味を、新たな船出を迎えた大阪中之島美術館でお楽しみください。

**大阪中之島美術館**

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目

<https://nakka-art.jp>

